

## 第 15 回デイサービスセンターかおり運営推進会議 議事録

日時 : 令和 6 年 2 月 21 日木曜日 18 時～19 時  
場所 : デイサービスセンターかおり  
テーマ : 家族介護版「しゃべり場Ⅱ」  
参加者 : 他事業所職員等 7 名・利用者家族 6 名・事業所職員 16 名 合計 29 名

### 1. 開会の挨拶 管理者 二宮 礼

本日は、医療法人きらりの運営推進会議にご出席いただきありがとうございます。今回は、介護版しゃべり場という事で、皆さんが日々経験されている事などを情報交換できる場になればいいなと思っていますので、ぜひいろんなことを相談したり、話したりして下さい。



### 2. 家族介護版「しゃべり場Ⅱ」

～皆さんが家庭ですごく腹が立った事、困った事はどんなことですか？～

司会:田中

まずは、お手元にある資料をご覧ください。今回この会議を開催するにあたって事前に皆さんにアンケートを取らせていただきました。日常生活の中で、具体的に困っている事は何ですかという事に焦点をあてて、みなさんにお聞きした結果を、2枚綴りの資料にまとめました。

アンケート一枚目、身体介護であれば、日中や夜中の排泄、認知症状への対応に困っている方が多かったようです。今回のしゃべり場のテーマが「皆さんが家庭ですごく腹が立った事、困った事はどんなことですか」という事です。今回利用者さんのご家族にも来ていただいているので、お話を伺いたいと思います。最初に、ご家族の A さんよろしく申し上げます。

家族 A

この前の集まりの時より、随分と本人は、かおりの皆さんのやさしさと親切さが身に染みてきているようで落ち着いてきています。

ただ、元々の DNA というか(笑)、弱いものをいじめる、一見弱いものに優しいように見えるんですが、家族の中では息子に対してです。息子はお父さんお父さんと言う感じなんですが、本人は「うるさいあっちへ行け」という感じです。この 2.3 日前も孫に対して息子が心配して言った発言に対して、気に食わなかったようでわざわざ2階に文句を言いに上がってきて、息子に対して、怒って、殺すぞと言う言葉を使った。それを隣の部屋で聞いていた私も怒って、その言葉は許さんぞ、あんたがそんなことを言える身分ではない、と言ってしまいました。

私が怒ると素直に悪かったとはなるんですが、DNA なんでしょうね、とにかく怒りたいようです。主人が怒った時は、私も頭ごなしにガンガン怒るので、私の事が怖いとなるようです(笑)。

司会:田中

前回のしゃべり場では排泄の事について、言っても変えてくれないと言われていましたが、その時に皆と話し合っ、無理に自分でやろうとしないでデイの職員に任せて下さいとお伝えしたと思います。実際それから半年間、A さんも家で実践してもらったんでしょう、本当にご本人さんのデイでの様子が一変しました。前は、A さんに怒られると頻りに言っていたが、それから頻度が減りました。

家族 A

最近、替える枚数が減りました。なので私の負担が減りました。不安感がなくなってきたから、おしっここのことも落ち着いてきたんじゃないかな。

**司会: 田中**

せっかく外部の方にも来ていただいているので、突然ですが CM の B さん、ご家族さんの実際の悩みに関わっていると思いますが、今の事を聞いて何か思うところはありますか？

**CM: B**

先ほどのお話を聞いて、気づかされたことをひとつ。24 時間ご自宅で介護される中で、夜のトイレ、不安になって不安を漏らす家族に対して、聞くことが大事ですよとか頷いてあげて下さいよとか、認知症状に対する基本的な対応をアドバイスしますが、今の事を聞いて、素直に思ったことを本人に伝えるのも、家族だから大事なのではないかと思いましたが、家族の場合は、介護という言葉は適切ではないのかなとも思います。家族として思っている事を伝えて、関わっていくという事が大切かなと思いました。

**家族 A**

通常はかいがいしく関わっています。(笑)

**司会: 田中**

A さんはショートステイの利用が必要だった時に、ご本人がショートは嫌ということで、ヘルパーさんに来てもらうことに変更し、穏やかに過ごせたという事もありました。今後も相談しながらやっていければと思います。続いて、同じく2号を利用されている C さん、何か思ったことがあればお話し下さい。

**家族 C**

かおりにお世話になる前は、母任せで要求通りにしていたが、ここにお世話になるようになって、本当にきめ細かく教えていただける、例えば紙パンツのこととかもこんな種類があるとか、お風呂に関しても入らなかったのが、かおりで入る様になって、すごく楽になりました。



年末に顔面神経麻痺になったのですが、盛次先生がすぐに飛んできて注射して頂いて完治しました。本人は今でも鏡を見て「治ったのか」と気にしていますが、治ってホッとしました。何かあるたびにその都度アドバイスをいただいて、その通り忠実に動いています。顔面マヒの時には、強い薬のせいとか、変な事を言ったりしていたので、とうとう頭にきたのかと思ったりしましたが、ノートに「こういう変なことを言いました」と書くと、わかりやすく適切なアドバイスをもらって、今では「母が認知症になっても大丈夫」と思えるようになりました。

顔面神経麻痺の時は、朝起きて何したらよいのかとか、どうやって食べたらいいのか・・・だったが、今はすっかり治って、もとのわがまま(笑)になっています。体調の良くない時は、すごく良く言う事を聞いてくれるので、ちょっと体調の良くない方がいいなんて思います(笑)。

ほんとに細かな対応に感謝しています。

**司会: 田中**

C さんのところは、デイを利用しだしたときから連絡ノートでお嫁さんとデイの様子だったり自宅での様子だったりの情報交換ができています。その中で疑問などがあつたときはその都度やり取りしてどういう風にしたらよいか話し合えています。デイを利用する前は、自宅に誰か来るわけではなかったので相談しやすい方を見つけることが出来なかったと思います。そういう時に一番相談しやすい存在はケアマネだと思います。今日はケアマネの D さんが来られているので話を聞いてみましょう。普段ケアマネとして意識している事、考えていることがあれば教えて下さい。

**CM: D**

本人さんよりご家族さんとのコミュニケーションを大切にしています。ご家族さんの困りごとを聞いて、か

おりやサービスを提供している事業所と、カンファレンスをたくさんしてくれます。その都度先生を交えてカンファレンスをしているので、その次のサービスにつながられていると思います。だからいっぱいのごりとケアマネに相談するのが良いと思います。

#### 介護職:義農

ご家族さんも C さんのことをきめ細かくみていますし、親身になって対応していらっしゃいます。私たちも日々元気になっていく C さんを見て、伝えて頂く悩み事に精いっぱい答えられるように、寄り添って介護が出来たらと。なんでもまた言ってください。

#### 家族 C

一番嬉しいことが、母が病気だったり困りごとがあったりしたとき、送迎のスタッフが「大丈夫ですか」と私に声をかけてくれることです。私にとって心強く、一人じゃないんだと身に染みて。ありがとうございます。

#### 司会:田中

次に E さん、いかがでしょうか？

#### 家族 E

この前パッドの悩みを聞いてもらってサンプルを用意していただいたが一枚使っただけで嫌がられてしまいました。嫌だと元気なうちは使わないので、寝たきりになってから使うことにしました。今は行けるから大丈夫。何なら這ってでも行こうかと。元気ですね。それはその時が来たら相談して教えてもらいながら進めていけたらいいかなと。最近はいろいろなことが気になるみたいでこれ何？これ誰？と色々聞いてきます。何度も聞いてくるので適当に答えたり無視したら怒られます。あんたは何も言ってくれんと拗ねる、でも 1 時間ぐらいしたら機嫌が直りまた聞いてくる、返事しなかったらお菓子でも買ってくる？と機嫌を取ってくる。かわいいところもあります。それ以外でも結構自分で出来ることはまだまだあって、トイレや歯磨きなど。99 歳だがそのうち出来なくなる時がくるのかな、いつだろうなと思いつつ日々を送っています。そういう感じです。

#### 司会:田中

E さんはかおりが出来た時からずっと利用されていますね。

#### 家族 C

週に何日利用されているんですか？

#### 家族 E

週に 4 日です。

#### 家族 A

すばらしい。まだ週に 4 日しか利用してないの？と思いました(笑)

#### 役員・管理者:有希

E さんの場合、プライドの高さからそれを維持されていて、デイの中でもトイレ介助をずっと拒まれていました。ある日トイレの中でパンツを上げるときに転んだみたいで、すごく落ち込んで、「転んだらみんなに迷惑をかける」と思われたみたいで、敢えて(スタッフが介助しにくい)小さい方のトイレを利用するようになりました。スタッフみんなでどうしようかと話し合った結果、「もし何かあったら心配なのでお願いします」と「お願いします作戦」を実践したら、トイレ介助をさせてもらえ始めました。少しずつ(介助しやすい)大きいトイレも使ってくれるようになりました。

#### 家族 A

その言葉頂きます(笑)

#### 役員・管理者:有希

私たちは家族じゃないので、先ほど A さんが言われた通りご家族は喧嘩してもいいと思います。言いたいことを言い合ってもいい。その方がお互いもすっきりするし、家族だから許し合えるし。私たち他人がそれ

をやると次の日から口をきいてもらえなくなるから。こちらは下手に出てお願いします。兎に角心配だからさせてほしいと何回もお願いします。怒らせた場合は、兎に角ごめんなさいを言い続けます。したことについては自分たちがしたわけではなくても、スタッフにはぐっと堪えてもらって、怒らせたことにごめんなさいを言い続けなさいとしています。それがモットーです。

#### 理事長:ドクター

「ごめんなさい。ありがとうございます。」と相手を気持ちよくさせることです。

#### 役員・管理者:有希

高齢になるとさみしくなります。誰かに横にいて欲しい。家だご家族、デイならスタッフにいてほしい、という気持ちが強くなります。実際、ご家族さんには色々することがあるので、なかなかそれが出来ないというジレンマはあると思います。この仕事をしていてわかるのは、なかなかそういうわけにはいかないし、ご本人にはわかってもらえない。Eさんのところもそういうところがあると思います。

#### 家族 E

そういうときはひたすらほっておきます。

#### 役員・管理者:有希

ご家族さんはそれでいいと思います。私たちがそれをやると明日から来てもらえなくなります(笑)。ここではスタッフがとっかえひっかえで対応し、ごめんねと機嫌を取っています。

#### 家族 E

わかります。うんうんといいながらほっておくと次の日、なんもしてくれんのかと思ったりしてくれるんやねと言ってきます。

#### 司会:田中

週4 デイに来て、あとは娘さんと過ごす。いいバランスだと思います。

つづいてはFさんのご家族さんはいかがでしょう。今回参加は初めてですよ？よかったら今回のテーマについてお話ししたいことがあればここで語ってもらえたらと思うのですが、よろしいでしょうか。

#### 家族 F

実の娘になります。実の親なので、もう 200%お互いがぶつかり合ったりしていますが、最近はずごくおとなしくて、かおりに行っているときはがんばって優等生でいるみたいです。「いろいろと細々とした作業に熱心に取り組んで本当にかおりのみなさんが感謝しているんです」と連絡ノートに書いていただいて、母のすることに感謝の気持ちを書きくださるんですが、家では「ただいまー」と帰ったらそのまま自分の部屋に行って寝てしまいます。寝てしまっていて夕飯が出来たら起こしにいて、起こしたら「なにご飯？」というので、「夜ごはん」と言って毎食、食事の前に起こしに行く感じです。とにかくデイがないときには家で24 時間寝ている、こんなに寝ていてよく夜にも寝れるなって感じなんですけど。トイレには自分が行きたくなったら行っているんですが、トイレに行った後「パットをかえてね」と言っているのに、最近パットをかえることがなくて。以前は自分でかえていたんですけど……。パットをかえたつもりで紙パンツを穿いて紙おむつの中に失禁していて、それで気持ち悪くなってまたトイレに行って今度、紙おむつを自分が破ってトイレのごみ袋に入れるんですね。それでその状態で紙おむつを穿かずにパットだけ当てて、下着はレギンスを穿いているので、レギンスで押さえた形で寝ています。朝起きて、祖母ちゃんのお尻がちっちゃかったら「紙おむつを穿いてないな」とわかるので、触ったらやっぱり紙おむつを穿いてない。そんな時、私は、紙おむつとパットを持って行ってその場で、本人に「かえるね」ってかえるんです。けど主人は「そんなに濡れるまで気持ち悪いやろ」と祖母ちゃんに怒るんですけど、本人は「ごめんよー、ありがとう」と言いながら。ここ最近、家族で紙おむつを世話するのに一日費やしているような状態が増えてきたんですけど。94 歳なら仕方がないなと思いつつも、半分は諦め、半分はどうにかしないといけないなと思いつつも今日に至っている感じなんです。とにかくパットの勉強みたいのを、勉強をいうか、最初 2 回のパットを

使っていたのが、次 3 回になって 4 回になって、今 4 回を使っているんですけど、なるべくトイレに行ってほしいから 2 回用のパットにしたりもしているんですけど、これをどうしたらいいのか、このままでいいのかと不安が若干あるんです、どうしたらいいですか？

**役員・管理者: 有希**

昼間はちゃんとデイではトイレに行けているし、もちろんちょっと出てしまった時はありますけど、夜間なんですよね？

**家族 F**

かおりでは本当に優等生なんですけど、家ではトイレの匂いがあるんですよね。パットの匂いがトイレに充満するじゃないですか、それで芳香剤を置いてもダメだし、匂いノンノンとかっていうのを買ってシュッシュッしてもやっぱり匂いがあるので、この匂いをどうにかしたいなという所です。あとは、食事も刻みなしで、私たちと同じものを食べてくれますが、ただ凄く食べるのが早くて、突っ込むような食べ方をします。「よく噛んでゆっくり食べようね」って、声掛けをしながら食べるんですけど、私が 1 時間かけて作った料理を「3 分かいいい！(笑)」ってというような感じで早食いなので、本当にもうちょっと味わって食べてほしいです。以前はみんなが揃ってから「いただきます」と言って食べていたんですけど、最近は、呼びに行っても自分のテーブルの席に座ると、もう本当になんていうか、ただひたすら食べる、それが本当に 3 分、5 分かかったらいいとこって感じです。固いものは出すんですけど、、例えば鶏の唐揚げとか、、結構噛まないといけないじゃないですか、それが 1 口 2 口、噛み噛みごっくん！みたいな感じです。こういった場合はどうしたらいい？と主人に相談するんですけど「まあ祖母ちゃんは歯がしっかりあるからいいんじゃない？」というので、今はその状態に甘んじています。でもやっぱり家族としては、よく噛んでゆっくり食べてもらいたいというのが私の・・・、私に対する礼儀？マナーじゃない？と思ったりするんです。まあ親だし仕方がないと思いつつ、家族と団欒しつつ祖母ちゃんはさっさと食べて、孫にも「さっさと食べたら、咳き込んでしまうで」と言われながら、それでも母は我が道を行く状態です。

私がちょっとお聞きしたいのは、かおりにいる時に、急に寒気がきて、すごい悪寒状態があって、39 度近く熱が上がって、そして震えているのが 3 回くらいあったんですけど、そういう状態が続くようだったら病院に診察に行ったほうがいいのか、自律神経だから様子見でいいのか、という判断を、どうしたらいいのでしょうか。アドバイスしていただけたらと思います。

**司会: 田中**

ありがとうございます。最後のほうは医療的なこともあったようなので、折角、今日は盛次 Dr.がこの場にいますので、F さんのご家族さんの意見に答えてもらえたらと思います。

**理事長: ドクター**

検査を全然していないのでわかりません。おそらく高度の熱がでて翌日に下がっているっていうのが 2,3 回続いているっていうのは、尿路感染、、おしっここのほうですね。おしっこのバイ菌は 94 歳でしたら少しはありますから、腎臓のほうに逆流して菌がいつてしまつて一次的に熱が上がって、その菌をやっつけて治る感じが多いです。

**役員・管理者: 有希**

抗生剤を使って今の対応でいいのではないかな。

**理事長: ドクター**

それを逆流しないようにするのは年齢的に難しいので対症療法でいいと思います。

**家族 F**

精密検査や総合病院に行かなくても大丈夫ですか？

**理事長: ドクター**

例えばお尻のほうにでっかい出来物ができていたりしていませんか？そういうタイプの方は、こういうこ

とがあるので、精密検査しても対症療法でいくしかないですよという結果になるので、病院に行ってもあまり意味がないのではないかなと思って紹介はしてはいないです。

#### 家族 F

なるようになる、ケセラセラでいいのかな。

#### 役員・管理者: 有希

認知症の方っていろいろなタイプの方がいるのですが、例えば、すごくきっちり 72 時間ごとに寝る生活をしている人もいますけど、F さんの場合は、元気にハツラツとやっていた時代のお家での様子のことは私も分からないですけど、しっかり線があるのではないかなと思うんですよ。外に出てデイに行っているときはすごい活動的で頭もしっかりして、おトイレもちゃんとできるというのがあるけど、家に帰ったらオフになるのかな。

#### 家族 F

多分そうだと思います。

#### 役員・管理者: 有希

だからちょっとお話していたのは、今回デイを 3 回から 4 回に増やしたんですけど、ご本人がそんなにしんどさがないんだったら、家にいるときはオフ、デイに来ているときはオン、っていうのでもいいのかなと思います。ただやっぱり排泄の失敗が増えてくるのであれば、そこを少しずつデイに来る回数を増やして行って、日中の排泄の失敗をしている時間が減ってきれいな状態で帰ってくると、また尿路感染とかの心配も減ってくるのではないかなと思います。もうその方、その方で認知症の、さっき言っていた E さんのところは、おトイレは大丈夫なんだけど、やっぱり物忘れとかこだわりが強かったりするんですけど、F さんの場合は、あまりそういうのがなくて、家でのオフと外でのオンっていうのがすごいきっちりされていると思うので、それに合わせてサービスを活用していくのがいいのではないかなと思います。お家では旦那さんとかお孫さんとか福祉系や医療系にかかわっている方がおられるから、排泄の行為も手伝ってもらえているみたいだし、家族に助けてもらいつつ、もうちょっとそろそろデイの回数を増やしていくのも一つの手かなと思います。だいたいっぺんに増やしていても疲れてしまっはいけないし、今回は 4 回でとりあえず様子を見てはいいのではないかなと思います。



#### 理事長・ドクター

子供のオムツは誰が外しましたか？自分ではないですよ。きっと保育園の先生達がされたと思います。同じように認知症のお年寄りも、デイの職員が対応しています。認知症で段々できなくなる排泄の問題についてですが、子供とお年寄りは紙一重です。

見てなかったりほったらかしにされると、子供は寂しくなったり辛くなったりするのと同じで、お年寄りも誰かが看ているという形が必要。パッドにするのか、紙パンツにするのか、どんなものがあるのか工夫して対応するのが良い保育園であり、良いデイサービスであります。

#### 役員・管理者: 有希

食事は 90 代を超えた方というのは、食べて噛んで飲み込むというのに、脳を集中させないと難しいと思います。昔はお話ししながらゆっくり食べられてたのが、90 歳を過ぎると嚥下機能も落ちてくるので、食べるということに集中しなくてはならない。そこに視点を変えてみたらいいかなと思います。食事も皆さんと同じ盛り付けではなくて、かきこみすぎでしまうなら、小皿に移して渡してあげるなどで、食べるスピードがコントロールされるようになりますよね。ちょっとその分、手はかかりますけど、ご家族と一緒に食べれる状況だったら、その配慮でスピードも落ちてきますからね。ご自宅ではそうかもしれないけれど、デイでご飯を食べる時は周りを見ながら食べているから、合わせながらマネしながらだから、そこまでかき込んで食べるようなスピードではないですね。自分が早く食べているということを忘れてしまうので、繰り返しの声

掛けが必要かなと思います。あるから全部食べないといけないと思って、がむしゃらに食べている可能性もあるから、1品、2品ずつ出してあげるとかというのも一つかなと思いますね。

#### 役員:ドクター

早く食べる、ゆっくり食べる、好き嫌が多い、好き嫌いがあまりない、これは全然寿命には関係ありませんよ。なのでどんなに好き嫌いしても大丈夫です。

それと、デイでうまくいっているのに、なんで家ではちゃんとしてくれないの?というご家庭も多いと思うんですが、連絡ノートなどでデイでの工夫を家でもできるようにするというのが大事になって来るかなと思います。デイはどんなことを職員がしているのかを、こっちも真似してみようと思うのがいいかなと。

#### 家族 G

私の母は最近、食事の際に食べては吐き、食べては吐き、それに飲み込みも悪いから、Fさんのかき込むように食べれるのが少し羨ましいなと思いました。ヘルパーさんが作ったご飯を完食しているときもあれば残しているときもあって、もうバラバラなんです。硬いや、飲み込めんや、冷たい、べたべたする、など文句ばかり言うんです。でも、つい最近椿祭りで、焼き芋のでっかいのを2つ買って、2つとも一人で全部食べていました。「それは食べれるんかい」と思ってしまいました(笑)。好きな物は何でも食べるところがあります。「なんでも食べて長生きせいかんやろ」と言ったら、「いつ死んでもええ。どうなってもええ」と投げやりな返し。最近そんな言葉をよく口にするんです。その言葉に、戸惑う自分もいるけど、そう言っている間は長生きしてくれるだろうと思うようにしています。

前までは遠慮したりするところがあったが、今はストレートに言う事が多くなりました。それも年のせいなのかもしれませんが、ヘルパーさんを傷つけたりすることもあるから、そこが心配です。言っているのはいいが、なかなか治らないです。声掛けは繰り返すのが、本人の気分で動いている状態です。

緊急な時は電話がかかってくるのですが、なにを言っているのか分からなくて。遠くにいるときに電話が鳴ると、緊急事かなと思って駆けつけたら、大したことない用事だったので、その時は腹が立ちました。本人が言いたいことだけを電話で言うから、なかなか会話のキャッチボールは出来ません。もし転んで失禁していてもいけないので、行くのが遅くなくても必ず行く様にはしているんです。

#### 役員・管理者:有希

もし電話が鳴ったら前みたいに大事になってるんじゃないかという気持ちは伝えてもいいと思います。「なにかあったら有希さんとか盛次先生に電話するように」と言ってもらっていいですよ。

#### ヘルパーステーション:H

1対1の関係でのサービスですから尚更、先生やかおりの皆さん、ケアマネさんあって、チームプレイができていると思います。確かに難しい利用者さんですが、チームプレイで話し合いができるから、支援も成立すると思います。人対人だし、個性があるスタッフと利用者様だから、なるべくうまく噛み合うようにしたいと心がけています。チームプレイの一環として、ヘルパーの悩み事も聞いてもらって、解決してもらったりして助かるし、頑張れます。Lineのグループがある事にも大きく助けられています。その中には、関係事業所や先生までたくさんの方がいて、いろんな情報があるからすごくわかりやすい。ケアマネも頻回に行けるわけではないから、いろんな目線での課題や困りごととも共有できるし、拾えるから、みんなが助かっています。とにかくみんなで、チームで協力して頑張っていきましょうね。

#### 司会:田中

グループラインについてですが、ヘルパーさんやケアマネさんはもちろんですが、うちの場合は、Dr.も参加していて助言や今の状態などを適宜報告してくれます。チームプレイというところは、これから色々な事業所さんとネットワークを広げていければと思います。かおりの理念にもあるように、みんなが大家族という意味でも、ヘルパーさんも家族も先生も、皆が協力して取り組んでいければよいと皆さんの話を聞いて思いました。

### 3. 閉会の挨拶 理事長:ドクター

保育園の話をしました。初めてのこどもの時に、お風呂どうしたらとか何着せたらとか、どうすればよいかわからなかったときに、先輩とか親に聞いて対処していったわけです。

自分の親が年老いていたときにどうすれば良いかわからない。そういう時に教えてもらえるのは CM さんだったりヘルパーさんだったり、子どもの保育園的な存在のデイだったりします。デイはかなりの時間を一緒に過ごしますから、どう対応したら良いかわかります。そこで例えばトイレの話をしてもらって家庭でも対応してもらったと思います。

かおりに来ている方は、殆どの方が、認知症、中重度以上の方で、だいたい排泄や入浴の問題を抱えています。そういう方のケアには段階があります。ことばがなくなり、身体が動かなくなるとか。また、超高齢になると老衰の問題がでてきます。冬場に食べられなくなったらどうするか、咽たらどうするかという事への対応。その他、うちではあまりないですが、身体障害、嚥下障害のある方への対応。それぞれの程度で適切な対応の仕方があるわけですが、われわれには経験があるので聞いてもらえれば対応できます。

皆さんで支えつつ、われわれも頑張ります。

昼間は家以外の他の所(例えばデイ)でやってもらっていても、夜にご家族が介護してくれているのは、利用者さんにとってかなり大きい事です。これが出来るから今、利用者さんが家にいられると思います。みなさんも今後とも共にやっていきましょう。

### 司会:田中

デイサービスセンターかおりでは、半年に一回、運営推進会議を開催しています。「しゃべり場」は今回二回目ですが、好評いただいているのではと思いますので、来年度も機会があればぜひ開催したいと思います。皆さま、本日はありがとうございました。



以上